

# アミーゴ会だより

2010年10月  
(メルマガを改題)  
No. 4: 2010-IV



発行人: 上原尚剛  
編集長: 渡辺道雄  
編集人: 河嶋正之  
事務局: 関口重雄

## 日本メキシコ学院(リセオ)の日本文化交流旅行 ～第21回を重ねた日墨架け橋のひとづくり～

日本メキシコ学院  
文化センター部  
部長 井上真由美

日本メキシコ学院(リセオ)は、幼稚部から高校部までのメキシコの教育課程に準拠するメキシココースと日本の教育課程に準拠する小学部と中学部の日本コースが同じ敷地内に並存しており、在籍する園児・児童・生徒数は合計900名の学校で、メキシコ合衆国の首都メキシコ市にあります。

リセオは日本・メキシコ両国政府の援助を受けて、1977年に開校しました。文化センター部は開校当初から日本・メキシコ両コースとともに設置され、リセオでの語学教務や行事の計画実施を通じた日本とメキシコの文化交流の推進と、季刊LICEO NOTICIAS(リセオ・ニュース)などを通じた保護者や外部への広報などを担当しています。

リセオが毎年夏に実施する日本文化交流旅行もその活動の一環として推進しており、日本語を学習するメキシコ人高校部生徒を対象として1987年に第1回を実施して以来(サーズ、テロ、インフルエンザの年を除いて)今年で21回目となりました。

この旅行は4週間の旅程で実施し、前半2週間は日本各地にある受け入れ協力校での体験入学とホームステイを行い、日本の学校生活や家庭での生活を体験します。後半の2週間は全体での研修旅行で、京都、広島、大阪、奈良、名古屋、東京、千葉などを巡り、日本の歴史や現代社会の様子を学びます。



名古屋市での交流

後半の旅程の中で毎年、メキシコ・日本アミーゴ会の皆様のご厚意で実施していただいているのが、会員やお知り合いの方々のお宅での2泊3日のホームステイです。

ホームステイ体験は、家庭での触れ合いを通して日本の習慣や文化など多くのことを学ぶことのできる大変有意義なもので、生涯忘れられない思い出が数多くできるのもこの体験を通してのことが多いようです。

期待と不安で対面の場所まで向かう生徒達は、受け入れてくださるご家族がスペイン語で「オラ！」と笑顔で挨拶をかけてくれた瞬間に緊張が吹き飛び、家族の一員として暖かく迎えていただけて楽しく貴重な体験をさせていただくことで、日本や日本の人々に対して更に理解を深めることができ、メキシコに戻ってからの日本語学習をもっと頑張ろうというモチベーションにもなっています。

今年の夏もリセオの19名の生徒達が貴会会員および戸塚スペイン語教室の14家庭でお世話になりました。ホストファミリーの方々との交流を通して生徒達は、日本と日本文化について更に理解を深め、受け入れをしてくださった皆様の温かいおもてなしに感謝して、メキシコへ戻ることができました。この場をお借りいたしまして重ねて御礼申し上げます。

帰国後の報告会では「忘れられない一生の思い出となった」、「お世話になった方々には本当に良くしていただいた」、「この旅行は一生に一度しか体験できないものだと思うので参加することを強く勧める」などのコメントがあり、在校生達に有意義な体験だったことを伝えていました。

多くの方々のご協力があってこそ実現できるリセオの日本文化交流旅行ですが、今後もメキシコと日本の架け橋となる未来を担う人材育成の一助となる素晴らしい体験ができますよう、メキシコ・日本アミーゴ会の皆様のご協力をお願い申し上げます。

\*参考: 日本メキシコ学院(リセオ)のHP\*

- ・日本コース: <http://www.lmjapones.edu.mx/>
- ・メキシココース: <http://www.liceomexicanojapones.edu.mx/LMJ/>

### ＝目次＝

- 1.リセオ日本文化交流旅行
- 2.リセオ生徒のホームステイ①
- 3.リセオ生徒のホームステイ②
- 4-5.メヒコと日本の「絆」・御宿
- 6.老人ホームとメキシコ
- 7.メキシコと私
- 8.タコスって好き?(その1)
- 9-10.各種催事の報告
- 11.西日本地区アミーゴ会報告  
メキシコ経済トピックス

## リセオ生徒のホームステイ①:受け入れ家庭の体験記

リセオの生徒や先生たちを受け入れていただいた川田会員と櫻田幹事より、ホストファミリー報告を頂戴しました。日本文化交流旅行で来日するリセオ生徒の受け入れをご希望される会員は事務局までご連絡願います。

東京都 川田 徹

7月11日の朝9時、アロンソ君、ハヴィエール君の寝ている部屋を覗いてみました。疲れてるのでしょうか。二人とも、ぐっすり眠っています。まずは一安心です。

今回のホームステイをお引き受けするに際し、家内ともども一人よりは二人の方が学生もリラックスできるのではなかろうかと考えておりましたので、事務局のご配慮による二人受け入れとのお申し出では私どもにとって願ってもないことでした。

前日、10日の朝、東京駅で対面した際に、これからのスケジュールをどうするか学生達と話し合いましたが、殆どのところへは行っている様子です。こちらが第一候補として考えていた秋葉原は一人が、もう金がなくなったのでパスしたいとのこと。最終的には鎌倉の大仏見学に決定しましたが、自分自身は50年以上前に行っただけで、何とか案内は出来るだろうとは思いつつも、甚だ心もとない状況にありました。

ところが今回、大変お世話になった事務局の関口夫人が、鎌倉市観光協会のガイドとしてご活躍の旨を聞き及び、早速ご案内をお願いしたところ、快くお引受け頂き一安心。鎌倉方面の学生達と合同で「いざ鎌倉へ」。順調なスタートを切ることができました。

名ガイド関口夫人の詳細な説明付き大仏見学は学生達にとって、仲間と暫しの別れを前に有意義な一時であったものと思いますが、僕とっても楽しい思い出となりました。関口さん、有難うございました。本当に助かりました。



京都 清水寺

翌11日の水上バス「卑弥呼」に乗船しての「ビル群を裏側から見る東京湾ツアー」は、リセオでお世話になった次男夫婦がカバーしてくれました。日本コースとメキシココースの違いこそあれ、そこはリセオ同士。若者達は大いに話が弾んだようです。

短い3日間ではありましたが、学生達は疲れていたとは思いますが、そのような素振りは些かも見せること無く、素直で、常に快活であったことと、日本人の家庭から何かを学びとろうとの積極的な姿勢を、そこ此处で感じる事が出来、非常に好感が持てました。

最後になりましたがお世話を頂きました櫻田様を始め日笠様、関口様ご夫妻に、心から御礼申し上げます。(了)

幹事(リセオ担当) 櫻田 武

あいにく今年は来訪がなかったのですが、1昨年まで3年間はLiceoのメキシココース教育の管理者級や優秀な教員が選抜されて、毎年二人ずつ来日し生徒たちの姉妹校体験入学の日数分を“日本の学校事情、日本の教育事情”などの研修にきています。関東でのホームステイでは、延べ5名の先生方と我が家にて歓談していますので、この機会にこれをご紹介します。

我が家でステイ中での会話では、多少断片的な嫌いはありますが、リセオの最近情報をいろいろと聞き、彼らが日本で寸見仄聞した各校教室風景を見ての日墨比較感想や教育大等での教育法研修などの話を聞きました。もちろん短時日の見聞であり、各訪問先で日本の教員とのディスカッションが[受け入れ側との双方の言葉の壁が厚いので]行われているとは想像できませんので…、少しでも理解が進むように微力を尽くして補完しようと考えてのことです。

また、日本での得点偏差値主導の進路指導(保護者の要求にしたがった「学校教師の苦渋に満ちた妥協に由る?」と私は解釈していますが)、そこから派生する”受験塾“を避けて通れない保護者側の“子育て教育事情“の悩み・問題点など、引いては人間力教育論や、公立校・私立校間の教育格差に悩む実情などの陳開もしました。真の狙いは、現在のメキシコ国状においてリセオ教育の目指すべき課題を校長級・高校教師級・選ばれて研修派遣された先生への期待をこめて問いかけてみた次第。この夕食後の数時間が非常に有意義な時間であったと思っています。



名古屋城

後日リセオで再会した時も、そのときに真剣な議論をした思い出もあって、とても懐かしいものを感じた次第。これらの先生方がリセオでの日常の教育活動にこのような情熱を保って携わってくれているものと期待がまた膨らむのですが…。

出来ることならリセオにおいて派遣直前にでも先生方に日本の学校教育事情の予習会を持ち、各先生が自分なりのミニテーマ(質問状)を持って来訪されると、少しでもはっきりとした収穫が得られのではないかと思います。そしてもう一方の問題点は、メキシコ日本人学校に出向し、2~4年間教員生活をされた日本コースの諸先生方との再会を果たし、議論の機会をつくれぬものか、とこの小文を書きながら来年以降の展開を期したい。…そんな夢も描いているのです。(了)

## リセオ生徒のホームステイ②: 生徒の感動体験記

日本文化旅行で2泊3日のホームステイを体験したリセオ生徒4人の報告を、西語原文に編集部抄訳を付して掲載します。それぞれ会員の小野様(逗子市)、関口様(鎌倉市)、渡辺様(鎌倉市)、また戸塚スペイン語教室の本田様(横浜市)のお宅にお世話になりました。その他のホストファミリーの方々の献身的なご協力にも併せてお礼を申し上げます。有り難うございました。また来年もよろしくお願ひします。

### REPORTE DE TOKYO (東京報告)

#### KAREEM CARDENAS GUTIÉRREZ

La Ciudad capital de Japón me sorprendió y gustó mucho. Me sorprendió la cantidad de personas que habitan esta ciudad. Es algo realmente impresionante la densidad habitacional que este centro urbano posee. La cantidad de edificios de gran altura, lo cercano que se encuentran todas sus edificaciones, son una muestra del fenómeno social que ocurre en esta ciudad. Algo que también llamó mi interés es que en comparación con las otras ciudades que pude visitar, como por ejemplo Okinawa (注: 一次は沖縄県の沖縄尚学高等学校に体験入学), la gente de Tokyo tiene una vida muy acelerada y aparentemente siempre llevan prisa.

En Tokyo pude conocer Tokyo Disneyland, Asakusa, y Akihabara. Tokyo Disney me gustó mucho porque cuenta con una amplia gama de atracciones, juegos, show con luz, etc., también dentro del parque de diversiones existían muchas tiendas con distintos personajes de Disney. De ese lugar también me gustó mucho el trencito que llega a Asakusa, el mejor lugar para comprar recuerdos tradicionales de Japón a un muy buen precio y dentro de esa zona hay un sin fin de tiendas con diversos artículos y en la parte más retirada se encuentra el Templo de Asakusa, un templo que a pesar de no ser tan vistoso, era muy bello y poseía rasgos característicos de la cultura japonesa.

《首都の東京には驚きましたが、とても気に入りました。とくに人の多さにはびっくりでした。多くの高層ビル群の建物の間隔の狭さは、この都市の社会的な現象の表れです。興味深いことに、沖縄のような街と比較すると、東京の人々は慌ただしい生活を送り、一見いつも急いでいます。他方、東京ディズニーランドは素晴らしかった。色々なアトラクションや遊具、光のショー等があり、ディズニーの様々なキャラクターの売店も多かったです。その後は浅草に行きました。浅草は日本の伝統的なお土産を安く買うには最高の場所です。この一角には多様な品物を売るお店が延々と続き、その奥に浅草寺があります。浅草寺は華麗ではありませんがとても美しく、日本文化の特徴を残していました。》

### REPORTE HIROSHIMA (広島報告)

#### LUIS RICARDO MARTÍNEZ RAMÍREZ

En Hiroshima nos recibió un señor que era el antiguo Director de Sección Japonesa, el nos llevó en primer lugar a una isla llamada Miyajima que estaba considerada como un tesoro nacional y protegida por el gobierno. En esta isla habían muchos templos pero lo que también habían eran venados, muchísimos venados pero también decían que habían changos, aunque la verdad, no pude ver ninguno.

Después regresando de la isla nos llevaron al Edificio que quedó en pie, se sentí muy triste el aire que se respiraba, se sentía como si hubiera sido hace poco

tiempo. Después nos llevaron al “Monumento de la Paz” de Sadako Sasaki, la niña de las 1000 grullas, ahí me tocó colocar las 1000 grullas que todos hicimos antes de venir a Japón, después de eso nos llevaron al Museo de la “Bomba Atómica”.

Yo sentía mucha tristeza el entrar ya que tenía en mente lo que me esperaba adentro, pero después de todo, entré. En el interior habían muchas cosas, desde objetos afectados por la bomba, fotos muy fuertes de afectados, muchos testimonios, mapas de lo sucedido, creo que de verdad fue algo terrible.

(注: 一次は京都の立命館宇治中学・高等学校に体験入学)

《広島では日本コースの元校長先生に宮島を案内して頂きました。多くの社殿があり、沢山の鹿がいました。私は見せませんでした。猿もいるとのこと。また、骨格だけの建物の前では悲しみが募り、恰もつい最近の出来事のように思えました。千羽鶴の佐々木禎子さんの像がある平和記念堂に行き、来日前に皆で折った千羽鶴を私が代表して捧げました。原爆資料館にも案内して貰いました。中で待ち受けているものを思うと、入館することに悲しさを覚えました。思いきって入りました。館内には原爆の被害を受けた物、酷い状態になった人の写真、多くの証言、関連する地図などが展示されていました。本当に恐ろしいことだったと思います。》



広島・宮島

### REPORTE DE INGRESO TEMPORAL

#### (体験入学報告)

#### REGINA TELLO GARCÍA

Mi experiencia durante el Ingreso Temporal fue muy bonita, mi familia era muy atenta, en la escuela logré hacer buenas amistades. Siento que mi japonés ha mejorado mucho ya que tomé muchas clases en la escuela.

Durante el Ingreso Temporal hablé en japonés con mi familia. La comida ha sido de las cosas que más he disfrutado y lo que más me ha gustado.

El Ingreso Temporal es una muy buena oportunidad para conocer más a fondo la cultura japonesa, y vivirla día con día. (注: 一次は香川県立坂出高等学校に体験入学)

《体験入学の経験は非常に素晴らしく、ホームステイ先の家族が親切で、学校では良い友達を作れました。多くの授業を受けたので、私の日本語も大変上達したと思います。

【5ページ右へ続く】

# メヒコと日本の「絆」・御宿

## ～日墨友好親善使節団のメキシコ訪問～

アミーゴ会 メキシコ代表 遠藤滋哉

今年2月1日に公式訪日したカルデロン大統領を石田・御宿町長が赤坂迎賓館に表敬した際、大統領から「メヒコで9月に催す独立200周年祭に是非いらしてください」と親しくお言葉がありました。御宿町の有志で「日本・メキシコ友好親善使節団」が組織され、9月13日～20日のメキシコ訪問が実現しました。御宿町の使節団は訪問先各地で熱烈な歓迎を受けました。とくにメキシコ・シティでは、日墨協会の菅原会長が特に心がけたという歓迎会と御宿町主催の交流記念公募展開会式に、15日の独立祭前日にもかかわらず100名以上の参加があり、私どもメヒコ側の熱意も十分に伝えることが出来ましたことは喜びに耐えません。

### 御宿親善使節団の友好の歩み

9月13日 石田義廣・御宿町長はじめご一行25名がアエロメヒコ便で到着され、使節団の代表数名が小野正昭・駐墨日本大使より大使公邸に招かれて旅の慰労と使節の目的成就の励ましを戴きました。

9月14日 ドン・ロドリゴの生誕地であり墓地がある「テカマチャルコ」を訪問。小野大使はじめ菅原会長ほか協賛して下さった方々が同行して、ロドリゴ廟の旧サン・フランシスコ修道院にて献花し、記念プレートの寄贈式典を挙行。

テカマチャルコでは町始まって以来の日本からの使節と云うことで、幼稚園児から高校生までが手作りの旗を振って大歓迎をしてくれました。特に小さな子供たちが手書きした日の丸は、お日様がチョット！歪だったりして愛らしく、心のこもったもてなしは使節団の人々の胸を打ちました。

この日、カルデロン大統領主催の独立200周年記念晩餐会に石田町長が招かれました。

9月15日 日墨協会主催の歓迎会と御宿町企画主催の「日墨交流400周年記念公募作品展」の開会式が日墨会館で130余名の参加を得て、石田町長、高瀬公使、セルヒオ・ゴンサレス元駐日大使によるテープカットで盛大に開かれました。日本のみならず姉妹都市アカプルコからも応募があった「人間愛」をテーマにした作品群、「友好の絆」を詠んだ短歌の掛け軸、「海女さんに助けられる遭難者たち」や「ドン・ロドリゴと家康の会見場面」を表現した創作人形などが展示され、訪れた人々の目を留めていました。また、特筆すべきは各テーブルに御宿が世界に誇る銘酒「岩の井」(岩瀬酒造醸造)が供せられ、その名も「絆=Vínculo」のラヴェルが用意された記念特別酒が使節団の畑中英男漁協組合長よりご披露され、アカプルコ市との姉妹提携の仲人とも言える東信行先生の乾杯“サルゥー”で宴は益々盛り上がったのです。

また千葉県発行の『ドン・ロドリゴの幸運ー交流の始まりー』(小倉明著)と御宿町発行記念誌『絆・Vínculoー友好の証ー』を参加者に配布しました。

9月16日 グリートの大花火の余韻も覚めやらぬ憲法広場(ソカロ)から繰り出す軍隊パレードを貴賓席から観覧したあと、使節団は空路で姉妹都市アカプルコへ向かいました。

9月17日 ゲレロ州知事ご臨席のもと、アカプルコ・御宿姉妹都市歓迎式典に参加。翌18日は市内と銀の町タスコを観光。

9月19日 世界遺産にも指定されている「トラヤカパン」在住のバイオリンニスト黒沼ユリ子先生邸で訪墨歓迎コンサートと午餐パーティー。

9月20 午前中はテオティワカン・ピラミッドを観光。帰国間際にミカド・トラヴェルの特別な計らいで、国立人類学博物館で開かれた日本大使館主催の「400年 メヒコ・日本交流の軌跡展」のオープニング・レセプションに参加出来て大満足！

皆さん、沢山たくさんの方の友好と親善のお土産を胸に帰国の途に就かれました。お疲れさま。そして、ありがとうございます。

### テカマチャルコ:ドン・ロドリゴの霊廟を訪ねる

御宿からの使節団がメヒコで一番最初に訪ねる町が何故に「テカマチャルコ」だったのか!？。



ドン・ロドリゴのお墓があると言われていた「テカマチャルコ」はメキシコシティからプ

エブラまで東へ127km、フォルクス・ワーゲンの工場を左手に、プエブラの街(人口100万人余の大都会)を右手にさらに53km、二時間半ほどの道のりです。セントロのこじんまりしたソカロ(中心広場)を廻って丘陵を登りかける高台に、旧サン・フランシスコ修道院は町を見下ろすように建っています。

初めて目にするサン・フランシスコ修道院はテカマチャルコの丘の中腹に、折からの雨の中、古色蒼然とたたずんでいました。この旧修道院は左側に単塔の鐘楼をもつ城砦教会で、強制的にキリスト教に改宗を強いられた先住民の反乱に備えた籠城抗戦を想定した造りです。1541年の建立(日本の種子島に鉄砲が伝わる2年前)と云います。入り口を入れて直ぐの、フランシスコ会宣教師が多くに住民に洗礼を授けたであろう聖水盤には、先住民の造石細工の妙が偲べれます。

ここには我々日本人が考えるドン・ロドリゴのお墓はありません。このサン・フランシスコ修道院そのものが「ヴィヴェロ家の霊廟」で“Cripta”と呼ばれる納骨堂なのです。礼拝堂の地下安置室にはグスマン、ヴェラスコ、アベルーサ(今回の主人公ドン・ロドリゴ)の三代(祖父の代から三人ともロドリゴ・デ・ヴィヴェロと同じ名前)に亘るヴィヴェロ家の、さらに後年の代々の縁者の霊が眠っています。

ドン・ロドリゴ・デ・ヴィヴェロ・イ・アベルーサは1627年、時のスペイン国王フェリペ三世より「伯爵」を受爵し、オリサバとプエブラにまたがる広大な領地を与えられ「初代オリサバ伯爵」と称せられます。また、ドン・ロドリゴ初代伯爵は自分の死後、仕えた小作人たちが悪徳な荘園管理人に理不尽な扱いを受けて困らないように、土地と金を与えるとの遺言を残したとする(当時としては破格の処遇です)、高潔高邁な人柄を物語る逸話が伝えられています。

そのドン・ロドリゴ・デ・ヴィヴェロ・イ・アベルーサが難破時に救われて、九死に一生を得たのが御宿なのです。400年前、御宿の海女さんたちに317名(残念ながら56名は死亡)も助けられ、さらに貧しい村人たちが37日間もなけなしの食料や衣服を与えてもてなした、純朴な人間愛に根ざした精一杯の善意の施しでありました。そして当時の施政者は新たな船を与えて故国へ送り届けた史実に、先人たちの比類なき心意気は何度聞いても人々の心に感動を呼び起こします。

400年の悠久の時の流れ、どれほどの年月なのでしょう。今回、この霊廟に御宿の使節団がお参りすることは大変意義深く、多くの人々に先人たちの偉業へ畏敬の念を思い起こさせ、メヒコと日本の新たな友好の未来を紡ぎ出してくれることでしょう。

### ガレオン船の絆：マニラ～御宿～アカプルコ

テカマチャルコを案内してくれた町役場勤務のグアダルーペさんはクアマツツイ(CUAMATZI)という先住民トラスカラ族の姓を持ち、その血筋に誇りを持っている様子でした。当時のガレオン船の下級乗組員はほとんどがトラスカラ族だったこと、さらには御宿での出来事を話すと、彼女は目を輝かせて先祖の御宿での苦難と出会いに思いを馳せていました。

当時、西回りで太平洋の香料諸島を目指したスペイン人冒険家の一人ルイ・ロペス・デ・ヴィジャロボスが1543年2月、ミンダナオ島に到達。時の皇太子フェリペの名を冠して「フィリピン」と命名し、良港マニラをスペイン王国のアジア植民政政策の拠点としました。太平洋横断航路のうちマニラへの往路は早くに確立しましたが、アカプルコへの復路確立はミゲル・ロペス・デ・レガスピ総司令官とアンドレス・デ・ウルダネッタ航海士による1565年の北東新航路の開拓成功によります。こうしてガレオン船交易によるスペイン王国とヌエヴァ・エスパーニャ(メキシコ)の「黄金の日々」が始まり、ついに1609年9月30日のドン・ロドリゴの「悲運」の遭難が起こります。

御宿漁民の、同じ海に生きる人間の「愛」によって“幸運”を得たドン・ロドリゴは、メヒコと日本に「友好の絆」と云う贈り物をもたらしたのです。

(2010年10月12日記)

**編集部注：**筆者はアミーゴ会の海外会員(メキシコ在住)。御宿町友好親善使節団の訪墨に際して、上原会長の委嘱を受けたアミーゴ会メキシコ代表として諸般の受け入れ準備に奔走し、訪墨団活動を成功に導いた影の功労者のお一人です。なお本稿は日墨協会機関誌の掲載記事を筆者と菅原日墨協会長の転載許可を得て、編集部が抜粋転載しました。文責は編集部にあります。

### 【3ページより続く】

ホストファミリーとは日本語で話しました。食事はとても美味しく大好きになりました。体験入学は日本文化をより深く理解し、日常生活で日本文化を体験するとても良い機会でした。》

### REPORTAGE DE HOMESTAY (ホームステイ報告)

#### KAREN MARIANA ACEVEDO ESCOBEDO

El segundo Home Stay que hice junto con la familia de Amigo-Kai (Sra. Yoshiko Honda : Escuela Totsuka de Español), fue cerca de Yokohama donde hice mi primer Home stay (注：一次は横浜国際女学院翠陵高等学校に体験入学)。La señora que me recibió fue muy amable. La primera tarde, me llevó a Land Mark muy famoso en Yokohama. Ahí fuimos a un restaurante de comida mexicana, ya que ella creyó que yo extrañaba mucho esa comida. Comimos tacos, quesadillas y agua de jamaica mientras yo le explicaba como era la comida en México. Y luego, subimos la torre de Land Mark que tiene 70 pisos. El elevador los sube en unos 30 segundos, me parece. Fue la experiencia increíble. De la cima, se veía claramente el monte Fuji y la Torre de Tokio.

Al día siguiente, me llevó a Kamakura que unía dos cosas que me gustan: el mar y los templos. Me disfruté mucho del paseo a la orilla de la playa, la visita a los templos y también el recorrido por el tren cuyos rieles van muy cerca de las casas.

Me gustó mucho convivir con esta familia. Me gustó mucho que me hablara en español y fuera paciente conmigo en el japonés. Creo que fue una experiencia que me enriqueció mucho por que aprendí como es el español para otras culturas. Es muy confortante que te hablen en tu mismo idioma en otro país, y también me sirvió para practicar mi Japonés.

《ホームステイ報告＝横浜と鎌倉：

私にとっての2度目のホームステイ先は本多ファミリーで、第1回目のホームステイをした横浜の近くでした。本多のお母さんは非常にやさしく迎えてくれました。

初日の午後、横浜のランドマークに連れて行ってくれました。メキシコ料理店に出かけ、タコス、ケサディリャ、アグア・デ・ハマイカを賞味しました。その後、70階あるランドマークタワーにエレベーターで上りましたが、私には30秒ぐらいしか掛らなかったように思います。信じられないような経験でした。屋上からは、くっきりと富士山と東京タワーを見ることが出来ました。翌日、鎌倉を案内して貰いました。私の好きな海と寺社を持つ街です。海辺の散歩、寺社の見学、そして家のすぐ近くを走る電車の旅を楽しみました。

本多ファミリーとの生活は非常に楽しいものでした。私にスペイン語で話しかけ、また、私の日本語には辛抱強く付き合ってくれました。このホームステイはスペイン語が他の文化にとってどの様なものなのかを学ぶことが出来、私を豊かにしてくれた良い経験であったと思います。他の国で自国の言葉で話しかけてくれることは心休まることであり、また、日本語を実習することにも役立ちました。》 (了)

**編集部注：**本特集を組むに際しては、櫻田幹事とリセオの井上部長のご協力を仰ぎました。記して感謝申し上げます。

## 老人ホームとメキシコ

アミーゴ会 元幹事 荒木 道介

私は10月で78歳となりますが3年余前からサンシテイ宝塚と言う有料老人ホームに入居しています。入居後直ぐに肺気腫と診断され其の日から在宅酸素療法を受けねばなくなり酸素ボンベとの共存生活が始まりました。

74歳で老人ホームに入ることには違和感がありましたが私達には子供がなかった事も決断の一つの動機となりました。この病は進行こそすれ改善される事は無く現に3年前より増悪が進み今や近辺以外の外出や買い物や外食に出る事は殆ど不可能な状態となりました。そして老人ホームに入っていて良かったと思っています。

私は1973～82年と1985～89年と都合13年間メキシコに駐在しました。(1963～70年のエル・サルヴァドル駐在と1989～2000年のティファアナでの仕事を加えると中米在住歴31年となります)或る医者は40年間の喫煙歴があり世界でも名だたる空気汚染の酷いメキシコ市に13年も居れば肺気腫にもなるだろうとの事。私の知ってるメキシコ人に肺気腫の人は居なかったと反論しています。それでも私はメキシコや中米に居た事を後悔するどころか長く住めた事に感謝しています。ただ残念なのは老後にもう一度メキシコや中南米・スペインにゆっくりと長期に滞在して旅をして歩きたかった夢が適わなくなった事です。

この老人ホームには200名余りのご老人(平均年齢は年々上がり今や80歳で内70%が元々女性)が居住されていますが健康な人とそうでない人では毎日の生活パターンに大きな差が出てきます。先日も94歳のおばあさんが一人で飛鳥世界一周のクルーズから元気で戻って来られました。昨年までは未だアミーゴ会や幹事会にも酸素ボンベ帯同で何とか参加出来ましたが今はそれも出来なくなりました。このホームの中で自分なりの楽しみを見出し前向きに生きる他ありません。それも何とかメキシコとの関わりを持ち続けたいと思っています。

そんな中、先日このサンシテイ宝塚の5周年記念



行事が3日間に亘って催され、内1日は入居者やスタッフによる音楽会がありました。私も出演の要請を受けましたが、此処には元宝塚歌劇出身者や音大芸大出の人達も居られ躊躇しましたが私達の金婚式記念も兼ねて出演する事にしました。家内と二人で Malagueña / Llorona / Cielito Lindo を弾き語りで歌いました。

結果は意外にも好評で、言葉は分らなくてもメキシコの歌の大地や太陽の香りそして民族の心が通じたのか多くの人達からお褒めの言葉を頂きました。何年も前に亡くした夫の事を思い出して泣いてしまったとか、何故か胸にジーンと来たとか、昔聞いたファドを思い出したとかのコメントを頂きました。又中には朝会うと buenos dias と挨拶してくれる人まで現れたりして一挙にホーム内で私達への親近感が増した様です。



又私達がメキシコで気に入って1979～81年頃買って今日まで常に我が家の壁を彩ってくれ、我が家(勿論この老人ホームでも)の象徴の

様な Rufino Tamayo の絵3点(何れも Mixografía=編集部注:タマヨが命名した版画技法)は入居者の一部の絵画好きの人達の間で(特に Sandilla が)評判になっていて、時々見せて欲しいと訪れる人が居ます。

7月のアミーゴ会便りで最近入会された画家の高橋剋之様はその記事の中で嘗て Rufino Tamayo に師事された(記事にある作風からも伺えます)と知り嬉しく思いました。私は Tamayo への思い入れの余り、1980年にはロスにあった Mixografía の Taller(工房)も訪問しましたし、Tamayo のサイン入りの画集も大切に持っています。

9月には恒例の Fiesta Mexicana が梅田スカイビルで催されます。昨年までは毎年これに参加していましたし、又このホームに近い箕面(箕面・メキシコ友の会)でのフィエスタ・メヒカーナに何人かの人達を連れて参加した事もありました。しかし今年からは何れにも参加出来ません。

しかし、こんな老人ホームの中にあってもメキシコに何らかの形で関わり続け、ここの人達に少しでもメキシコの事を知ってもらい語る機会が増える事は嬉しい事です。そして音楽や絵画の原点は年齢・人種・言葉をこえて人の心に共振を引き起こす事ではないかなと思っています。海外に長期に駐在して素晴らしい事は文化や生い立ちの違う其の地の人達と身近に接し仕事以外にも色んな事を話し合い、共に喜び・悩み・悲しみ又一緒に飲み・食べ・歌い・踊ったり出来る事です。特にメキシコの様な国にあってはそれが出来た私達は幸せ者と思っています。(了)

編集部注:筆者は1932年生まれ。56年大阪大学卒業後日綿実業(株)大阪本社入社。89年ニチメン退職し協和電機化学(株)アメリカ副社長。ティファアナに KYOMEX 設立。2000年退社し帰国。なお、エル・サルバドルとグアダハラでは塩ビパイプ合弁工場設立。

## メキシコと私

アミーゴ会会員 米国在住 都留小百合

こんにちわ！アミーゴの会の皆様、お元気ですか？会員の皆様の中には私がメキシコでお世話になった多くの方々がいらっしゃるかと伺っております。お久しぶりでございます。

今日は少し、メキシコと自分についてお話をしたいと思います。私は日本で外国語学科を卒業した後、メキシコへ渡り、大学院に行きました。メキシコは元々、私の生まれた国でしたが、2歳のときに家族全員で中米の国、グアテマラへ移り、小学校を卒業して日本へ帰るまでグアテマラで暮らした為、私にとってメキシコは異国の様でした。

大学院で経営を勉強しながら、メキシコ人についても学びました。パーティに呼んでもこちらの指定した時間に関係なく、夜の10時ごろにならないと誰も現れないこと、サッカーワールドカップでメキシコの試合及び最終戦があると誰も授業に出てこないこと、母の日にはメキシコの経済が止まってしまうこと、メキシコの女性の強いこと(!)、親日感情が強く、日本人であるだけで尊敬してもらえらるという事等、沢山のことを学びました…

その後、マーケティングの仕事をした後、貿易会社を設立し、日本から消費者グッズを輸入したりしましたが、結局、テキサスショックを生き延びることが出来ず、1995年頃からは事業を閉鎖し、通訳業務を始めました。

恐らく通訳として仕事した6年間は再度大学院へ行きなおしたと言えるくらい、改めて勉強をさせてもらいました。JICAのいろいろな分野の専門家に付き、植林、母子健康、ガス圧接、防災、原子力発電等について学びました。NHKと一緒に仕事をした際にはハイビジョンテレビの技術的な話しも訳すことがあれば、TELEVISION/NHK共同制作番組の作成に当たってはプロダクションマネージャーと言う肩書きを頂き、番組制作についても勉強させていただきました。JETROの経済ミッションでは多くの財界の方々の話を訳し、始めてBUFFALOのタコスをご馳走になりましたし、日産自動車の女相続人(都留=TSURU de Nissan?)と間違えられて格別スイートに泊めてもらったり…いろいろなハプニングがありました！

SALINAS大統領とはLOS PINOSで二度も通訳をさせてもらい、ZEDILLO大統領とは秋篠宮殿下及び紀子様を「日本人メキシコ移住100周年記念式典」で迎え、訪日の際も日本へまで同行させてもらい、面白い思い出を作りました。FOX大統領は一度だけ、JBIC総裁の通訳としてお会いしました。また、通訳を通して、初めて今、生活の糧となっている日本の素晴らしい、生産性を上げるための改善手法についても学ぶことが出来たのです。

メキシコでは本当に沢山のことを学び、多くの経験をしてきました。メキシコ人の主人とも出会い、息子

二人も私同様、メキシコで生まれました。メキシコとのつながりを作ってくれた父親もメキシコで他界しました。そんなメキシコから住居をアメリカへ変えて今年で9年となります。アメリカへ越してメキシコとは縁が薄くなるのではないかと不安に思っていました。幸い、今もお客様のほとんどがメキシコ企業、またはメキシコに所在する工場です。

生産性コンサルタントとしてメキシコの工場現場へ入り、マネージャーからオペレーターと接し、日本の改善活動を通して私なりにメキシコに少しお返しが出来た立場によりよくなったのかな、と最近思います。

メキシコと私…まだこれからもきっと深い縁が続きます。メキシコを愛しているメキシコ・アミーゴの会員の皆様とも、これからもいろいろな経験や意見を交換できることを楽しみにしています。(了)

**事務局注：**筆者は本文記載の通り、日本語、スペイン語、英語の同時通訳者としてトップクラスの技量をお持ちで、各企業からの要請に的確に答えています。加えて現在 日系・米系の一流企業がメキシコに工場進出する場合のコンサルを、さらにはメキシコ現地法人や米国現地法人の既存生産工程改善のコンサルを長年手掛け、その実績を高く評価されています。筆者の所属する JMAC Consultants America, Inc. ([www.jmac-america.com](http://www.jmac-america.com)) は(株)日本能率協会コンサルティング(<http://www.jmac.co.jp/>)の米国拠点。

\*\*\*\*\*

## リセオ(日墨学院)開院33周年 ～設計者を迎えてともに祝う～

幹事 鴻巣勝明



リセオ設計者 Arq. Pedro Ramirez Vázquez と開院33周年を祝う

リセオの第33回開院記念式典が9月23日に行われ、アミーゴ会代表として出席しました。既報の通り、アミーゴ会がリセオに『ドン・ロドリゴの幸運』を届けたことから招待をうけご披露いただきました。今年学院施設の設計者 Arq. Pedro Ramirez Vázquez 氏をご招待し歓談する企画がありました。氏は現在91歳ですが車椅子で来場されました。(注：ご一緒の方々写真は左から川村事務局長、カワカミ学院長、ヤマザキ会計士) (了)  
\*ペドロ・ラミレス建築士のプロフィールは下記のURL(西語)参照  
→ [http://es.wikipedia.org/wiki/Pedro\\_Ramirez\\_Vazquez](http://es.wikipedia.org/wiki/Pedro_Ramirez_Vazquez)

## タコスって好き？ (連載1/2) (自分で作ってみませんか？材料からタコスまで)

幹事 葎谷 修

自分でやろう!!とハラペーニョ栽培から始める葎谷流タコス道—今号ではハラペーニョづくりの奥義を少し開陳してもらいました。次号のテーマ??—美味しいタコスを食べる秘訣でしょうか。編集部も大いに期待。

メキシコの国民食である **tacos**。駐在時に私も得意先などでの商談で少し遅くなった時に、夕食までの小腹を満足させる為に、街角にある **puesto de tacos** をよく利用し **tacos** を食べたものです。

一方、家族も **tacos** 好きですので、帰国後も **el día de México** という日を設けて、家庭で頻りに **tacos** を作ります。色々なメキシコ料理がありますが、我々家族にとって簡単に料理出来るのが、やはり **tacos** なのです。

**tacos** を食するに当たり、絶対に必要なのが **salsa mexicana** ですし、**guacamole** なのです。更に、その為に重要な食材が **chile jalapeño** なのです。しかし、国内では、新鮮な **jalapeño** がなかなか手に入りません。



では、自分で収穫したら如何でしょうか？その場合は国内の大きなDIY店で、春に **jalapeño** の苗木を販売し始めます。それを買って来て、植木鉢か(後で述べますが、これを利用するのがお勧め)、プランタで育てます。初夏から白い花が咲き、**jalapeño** の実が実り始めます。1本の本で沢山収穫出来ますので、それを冷凍保存して、料理する時に解凍して使います。**jalapeño** は霜などに弱いので、屋外で越冬させるには霜除けを薦めますが、私は植木鉢に植えて冬季は屋内で越冬させます。更に **jalapeño** は同じ土での連作を嫌うので、冬場の不活発な時に別の土に移動させた方が、翌年は同じく沢山実らせます。そこまで気遣いすると、ほぼ毎年沢山収穫が可能です。

例えば、私が栽培している **jalapeño** の苗木は、もう3年目ですので、大分苗木がぐたぐた来ていますが、これでも夏場に相当数の **jalapeño** がまだ収穫出来ます。普通は実がある程度大きくなった時点で、まだ緑色でも収穫するのですが、今回は1個丈種を取るべく赤くなるまで熟れさせておきます。もう直ぐ収穫して、中を割り種を取り出して乾燥させて、梅雨明けには種を撒こうと考えてます。

我が家庭では、私が **tacos** の具を作り、**harina de maíz** を市場から買い求めて、捏ねて、メキシコで買い求めた **tortilladora** で薄く丸く伸ばし



て、**tortilla** を作ります。次に、**cebolla**、**tomate**、**jalapeño** (但し、**jalapeño** をみじん切りにする時には、その強力な辛さの為に、出来る丈使い捨てのビニール手袋を使って防御してください)、**cilantro** をみじん切りにして、混ぜ合わせて **salsa mexicana** を準備します。また柔らかく熟れた **aguacate** を崩して、それに **cebolla**、**cilantro**、**jalapeño** をみじん切りしたものを加えて、**guacamole** を作り、**tacos** と一緒に食べます。これを食べながら、メキシコ駐在時代の楽しかった日々を思い浮かべて、家族で思い出話しに耽ります。

編集部注：その1終了—その2は次号掲載予定。

\*\*\*\*\*

## 秋期親睦ゴルフ大会の報告

幹事 南郷 下條 鴻巣

恒例のामीゴ会秋期親睦ゴルフ大会が10月14日、31名の参加を得て横浜カントリークラブで開催されました。当日は天候にも恵まれ、参加者一同和気藹々の内にプレーを楽しみ無事終了しました。優勝は坂上恵一氏、2位は加藤勝巳氏、3位は山形純夫氏でした。次回も大勢の会員の参加をお待ちしております。



\*\*\*\*\*

展示会案内

## 「オルメカ文明展—マヤへの道」

日本メキシコ交流400周年記念『古代メキシコ・オルメカ文明展—マヤへの道』が現在、古代オリエン特博物館で開催中です。会期は12月19日(日)までです。

展示会場は池袋サンシャインシティ文化会館7階です。ご家族そろってお見逃しなく!!!!このあとは北九州、名古屋、鹿児島に巡回とのこと。

詳しくは下記URLをご覧ください。

\* 古代オリエン特博物館：<http://www.sa.il24.net/~aom/>

\* 朝日新聞公式HP：<http://www.asahi.com/event/olmeca/>

\* TBSイベント：<http://www.tbs.co.jp/event/olmeca2010/>



## 各種催事の報告

今夏はアミーゴ会だより第3号(7月号)でもお知らせしたように、横浜で7月24-25日と「アレグリア・デ・メヒコ」が、京都で9月4-5日と「京都メキシコ・エルマナス」が、毎年恒例のフィエスタ・メヒカーナが大阪では9月18-20日に、お台場では同25-26日に相次いで開催され、猛暑の日本はメキシカンサマー一色でした。各地の報告を掲載します。

### Fiesta Mexicana 2010 Odaiba

幹事 森 和重

第11回“Fiesta Mexicana 2010 in お台場 Tokyo”(アミーゴ会後援)が9月25日(土)~26日(日)の二日間にわたり開催された。

今年は、メキシコ独立200周年・革命100周年に当たる記念すべき年なので、ホテル・グラン・パシフィック Le Daiba でのメキシコ大使館主催の24日の前夜祭は、1810年のイダルゴ神父による独立宣言「ドローレスの叫び」を模したカバニャス駐日大使による「Viva Mexico!」の叫びでスタート、200人が参加して盛大にとり行われた。

初日の25日は台風が通過する悪天候に見舞われ、野外でのイベント・出展は中止となったが、アクアシティ3階での開会式ではルデス・メキシコ大使館文化担当官による挨拶、三村秀治郎実行委員長による開会宣言で予定通り始まった。イベントの目玉で毎年グアダラハラから招聘しているマリアッチ・アガベによる賑やかな演奏に始まり、12:00から



18:00まではラ・サイエ大学学生音楽隊、メキシコ人会バレエ団、メキシコダンス・グループのコラソン・デ・メヒコ、新宿メキシカン・ダンス、神山里映子とはぼねっち(子どもも参加のダンスグループ)、メキシコ音楽のジローと楽しい仲間たち、峰万里恵&高場・ジロー、メキシコ衣装ショウなど15グループによる歌とダンスの公演があり盛り上がった。

午後には恒例のメキシコ写真コンテスト入賞者表彰式が行われた。今年は31名と参加者も増え98枚の写真の応募があり、優秀者10名に対し、グランプリのメキシコ大使賞、準グランプリの文化担当賞などが授与された。

翌26日は台風一過の秋晴れに恵まれ、野外のメインステージとアクアシティ会場では、前日同様に12時から上述グループによる歌とダンスの公演が賑やかに行われた。また、野外広場にはメキシコ料理店が12店舗、メキシコ輸入品販売店が7店舗、SAGARPA(メキシコ農水省)のメキシコ農産物ブー

ス、御宿町の生産物ブースなど計22ブースの出展があり、多数の参加者がメキシコ料理とお酒と飲み物を味わい、メキシコ土産品やメキシコ産品を眺めたり買ったり楽しんでた。また、毎年子どもに人気のあるピニャータ割りも行われ、子どもたちも参加してピニャータのお菓子や飴をもらい喜んでた。終わり近くには、会場で参加者が事前に応募したクジの大抽選会が行われ、メキシコ往復航空券、ホテル宿泊券、出品者からの多数の商品などを受け取り大いに盛り上がった。

最後は多数の人たちが野外ステージでのダンスレッスン、ダンスタイムに参加して東京ベイの夕暮れを楽しんでいた。今年の参加者は25日が野外イベントの中止で1万人ぐらいたったが、26日は6万人位の人出があった。(了)

\*\*\*\*\*

### Kyoto-México Hermanas 2010

アミーゴ会 会員 高田 一恵

(Kyoto-Mexico Hermanas 2010 実行責任者)

アミーゴ会ホームページでご案内いただきました Kyoto-Mexico Hermanas 2010 は9月4-5日、お陰様をもち盛況のうちに終了しました。関係各位のご支援に深く感謝申し上げます。

京都市とグアダラハラ市の姉妹都市締結30周年にふさわしく、メキシコ及び京都-グアダラハラ姉妹都市の認知度アップ、今後の交流のきっかけ作りが出来たのではないかと考えております。猛暑の中、参加人数は2日間合計で23,000人と予想人数20,000人を上回り、主催者としては望外の喜びです。\*詳細⇒ <http://kyoto-mexico.com/>

本イベントは、日本各地で開催されているメキシコ関連イベントとは違った、姉妹都市ならではの「交流」をコンセプトに、メキシコの産業と京都の産業に今後交流が生まれるような仕組み作りを目指し、以下の行事を行いました。

◇京都ブランドとのマッチング

メキシコ商材の一方向的な紹介でなく、京都ブランドとマッチングさせました。京都を代表する食材「豆腐」と「アボカド」のマッチング。これはローヤル様、男前豆腐店様、ティグレ(HAOMING)様、その他サンプルご提供のグランティエラ様、ミツコムトレード24様、ハバネロ本舗様のご協力により実現しました。また、ルチャマスケブランド HAOMING 様と「京てぬぐい」のマッチング企画も大好評でした。

◇京都テキーラ会の発足

京都はテキーラの消費量がとても多い事に着目し、テキーラをフックにメキシコの文化を紹介する交流

会を結成しました。なかでも“酒つながり”の、伏見酒造組合とのコラボレートは今後の課題になりそうです。京都テキーラ会は、引き続き年数回の交流会を企画しています。

◇NPO 京都カラスマ大学とのコラボレーション  
京都の街全体をキャンパスにして生涯学習を推進する団体に、メキシコツーリズムを実施して頂き「京都メキシコ親善使節団」として訪墨、公式行事に参加しました。9月4日の「授業」では、訪墨団員にメキシコでの体験を語っていただきました。

◇エルマナス・スタンプラリー  
京都市内 30 店舗で 8/9～9/5 と「エルマナス・スタンプラリー」を開催し、約 200 人が抽選に挑戦しました。

#### ◇全般及び今後の課題

・京都全体でメキシコイベントが多く、特に「古代メキシコ・オルメカ文明展」の会場である京都文化博物館様には多くのご協力を頂き、お互いのイベントをリンクさせたり、USTREAM での発信を試みるなど、相乗効果をもたらせたと思います。

・イベントは趣向を凝らした楽しい内容が目白押しで、充実していたとの声を多く聞く事が出来ました。

・テキーラは、ボトル売りが順調で、京都の潜在的なテキーラ需要の可能性が伺える一面です。

・当日販売だけでなく、事前プロモーション活動等を行った参加企業様からは、次に繋がる成果を得たのご意見をいただいています。イベント時期だけでなく、メキシカンフードフェア等も今後機会があればプロジェクトとして実施を検討いたします。

・今回、初めてのイベントであるにもかかわらず、予想以上に多くの企業様に興味を持って頂いた事、京都ブランドとのコラボレーションに多くの方が興味を示された事など、次回に繋がる事が多く見られました。

引き続き、ますます大きなイベントに発展させたいと思っておりますので、一層のご厚誼をいただきますようお願い申し上げます。(丁)

\*京都・グアダハラ姉妹都市提携 30 周年記念事業一覽

→ <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000086276.html>

\*\*\*\*\*

## Alegría de México Yokohama

アミーゴ会 会員 蔵野 佳好子  
(有限会社エバーラスティング取締役社長)

私はメキシコにはまだ 2 回しか行ったことがありません。しかし、イベントを通じて多くのメキシコ人、そしてメキシコに関わる日本人の方々にお会いすることができ、色々な観点からメキシコを知り、日本ではまだ知り得ない素晴らしいメキシコがあるのだということを実感することができました。

そこで、私は新しいメキシコを紹介することができるステージを創ることができないかと考え、アレグリア・デ・メヒコを企画しました。このイベントの特徴は、基本プランは全てメキシコ人に作ってもらうという点です。メキシコ人自身がもっと日本人に知ってもらいたいメキシコを紹介するというこ

をポイントにしたいと考えたからです。進める上で、メキシコ人がなかなか情報を日本人のように細めに発信してくれない点や、準備のタイミングが通常の日本のイベントより遅い点など、四苦八苦しましたが、日本人のセオリー通りでない、ある意味純度の高いメキシコのイベントを創る上では仕様がないと耐えました。

イベントのテーマは“Tradition and Innovation”。場所は横浜市の赤レンガ倉庫。まさにテーマにぴったりの歴史と意味を持つ場所です。メキシコの大きな魅力の一つとして、若い世代も自国の何千年という歴史に誇りを持ち、新しい創作の中に必ず歴史から引き継いだものが息づいている点にあると思います。今回はメキシコから、ロックバンドの「モデラート」、ライブペインティングの「ココルブルー」、エレクトロニックミュージック DJ「ルイス・ラミレス」に来日してもらいました。「モデラート」に関してはとても有名なロックバンドとの事で、大使館の方たちの中にもファンの方がいてとても喜ばれました。

日本からは「政井マヤ」、「菊地成孔」といづれもメキシコにとっても興味を持っている方たちに参加してもらいました。彼らがこれから日本でのメキシコのアイコンとなってくれるよう企画しています。政井マヤはメキシコ人とのハーフなので、彼女自身これからの活動の中でメキシコと関わりたいという強い思いを持ってきています。菊地成孔はメキシコ音楽に興味を持っており、彼のライブの中でもラテンに影響された部分が見られます。このように世の中に発信する力を持った方たちにも、メキシコのプロモーションに一役買ってもらいたいと思っています。



太陽の国メキシコにふさわしく、本当に暑い 2 日間でしたが、それも強いインパクトとして残っています。アミーゴ会の方たちにも暑い中長時間お手伝い頂き、本当に感謝しています。来年はもっと日よけを作ります！今回は予算の関係もあり色々な面で十分ではなかったとは思いますが、コンセプトとしてはぶれなかったと確信しております。これから 2 回、3 回とできれば続いて行くイベントにしたいと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻を頂ければ幸いです。今、まさに来年の企画を作っておりますので、ご興味あればぜひご連絡下さい。(丁)

\* (有)エバーラスティングはイベント企画制作会社

→ [www.everlasting.tv](http://www.everlasting.tv)

# 西日本地区アミーゴ会報告

幹事 鹿内峻一

9月18日の土曜日、西日本地区のアミーゴ会懇親会を梅田のスカイビルのレストラン「四季彩」で開催しました。今回で8回目となります。

この会はセキスイが毎年主催するフィエスタ・メヒカーナのイベントに合わせて開催するもので、西日本地区のアミーゴ会としては一番大きな懇親会です。会員を中心に毎年30人程度のご参加を頂いておりますが、今回は都合のつかない方が多く、20人のこじんまりした会になりました。本部からは今回、関口事務局長にお出でいただき、冒頭にアミーゴ会の現状と既往の行事などについてお話を頂戴しました。

例年よりこじんまりした会とは言え、昨年と同様に、エミリオ・モラレス氏のハーブの演奏とギターに合わせた歌が入り、Bésame Mucho や Solamente Una Vez、また La Bamba などの曲と共に踊り出す人もおり、会は大変盛り上がりしました。



同じスカイビルの広場では、Fiesta Mexicana がその日を含めて三日間、開催されましたが、アミーゴ会の当日、メキシコ大使の Ruiz-Cabañas 氏が会場にいられたので、私と関口事務局長、そしてエミリオ氏の三名で大使に一言ご挨拶をさせて頂きました。大使はアミーゴ会の開催を大変喜んでおられました。

今年のアミーゴ会も例年同様に和気あいの雰囲気でしたが、毎年集客に苦労しているのが実情で、新規に参加された方の継続参加がなかなか無いのが悩みの種です。

一方では当地の幹事の高齢化の問題があり、この会を継続していくには、若い方々の参加が重要です。皆様方の中で、関西へメキシコから帰国される方の情報や関西在住のメキシコ人の情報等お持ちの方は、是非ご連絡下さる様お願い致します。

今年は京都市とグアダハラ市の姉妹都市関係締結30周年記念の年で、8月にはその関係のイベントが京都で行われました。また、京都はテキーラの消費量が日本一とのことで、日本京都テキーラ会も発足しております。当地のアミーゴ会としては、今後京都との連携について模索していきたいと思っております。

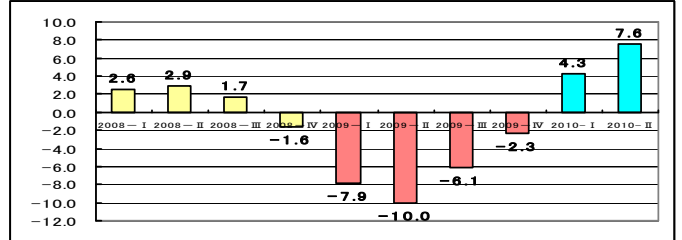
当地の会が無くならないように、今後の皆様方のご鞭撻とご支援をよろしく申し上げます。(了)

# メキシコ経済トピックス

幹事 河嶋正之

## 2010年上半期の実質GDPは5.9%成長

メキシコ経済は2010年第2四半期、前年同期比7.6%増の実質GDP成長率を記録した(INEGI:8月20日)。本誌第3号既報のように第1四半期は同4.3%増だったから、上半期では5.9%成長となった。

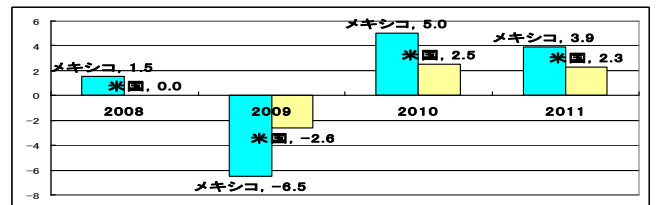


産業部門別では農林水産業が4.8%、鉱工業が7.8%、サービス業が5.6%と前年同期比増加した。しかし、この高成長は前年同期の低迷を反映したもので、メキシコ経済は09年第3四半期以降回復しているが景気後退直前の08年同期の水準には戻っていない。

10年上半期の回復は米国景気の回復に牽引された自動車や機械機器など工業品の生産輸出の拡大によるが、今後は米国経済の先行き減退が予測され、メキシコ経済も下半期から減速するとみられる。

メキシコ政府(財務省:9月8日)は実質GDPについて、10年通年で4.5%、11年は3.8%の成長を見込んでいる。政府見通しの前提は、米国経済が各々2.9%、2.8%の成長、インフレ率が同5%、3%、原油価格が同65ドル/バレル、63ドル/バレルである。他方、IMFは「世界経済見通し」で10月6日、11年のメキシコ経済は米国経済への依存度の高さ故に影響を直接受けて低迷するとし、実質GDP伸び率の予測を中南米主要国<sup>注</sup>でもっとも低い3.9%と公表した。(了)

(編集部注:主要国の伸び率予測はチリ・ペルー6.0%、コロンビア4.5%、ブラジル4.1%、アルゼンチン4.0%)



\*\*\*\*\*

## アミーゴ会第11回定時総会・懇親会

日時: 10月28日(木) 18:00~20:30

次第: 総会 18:00~18:30

懇親会 18:30~20:30

会場: ゼスト・キャンティーナ (銀座1-2-3)

懇親会費: 5,000円/人 子弟4,000円/人

＝ 編集後記 ＝

猛暑が一転して秋涼となり、昨今はどこか「冬遠からじ」を思わせる秋雨が続きます。ところが『アミーゴ会だより』は熱情溢れるでる玉稿を多数頂戴し、第4号はびっくりの大部となりました。メキシコからはリセオ日本旅行と御宿訪墨団受け入れの記事が届き、関西と関東からも多様な活動報告が寄せられました。本会会員の活躍の場が日墨双方に広がっていることは誠に喜ばしいことです。 [か]